

市川市立 南行徳小学校学校だより



南行通信

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

市川市立南行徳小学校

令和6年9月3日

校長 中村 由美子

元気な声に戻ってきました。

台風10号の影響を心配した夏休み明けの登校でしたが、強い風とぐんぐんと上がる気温の中、子供たちの元気な声が南行徳小学校に戻ってきました。校門で子供たちを待っていると、夏休み前より少し背が伸びたと感じたり、私からのあいさつにはにかみながら答えてくれたり、夏休みという長い時間の子供の成長を感じた時間でした。夏休みが始まる前に子供たちに「あいさつをする」「本を読む」ことを頑張ってもらいたいと話したので、「ぼくは、『かえるくんのこわい夜』を読んだよ」「おじいちゃんの家に行って、大きな声であいさつをしてほめられたよ」と教えてくれる子もいました。夏休みが子供たちの心も体もさらに成長させたことでしょう。

各教室では、担任と夏休み中の出来事を話したり、ビンゴ大会をしたりと様々な方法で夏休みと今日から始まる2学期の区切りをつけていました。2学期は、校外学習やドレミファ集会など多くの行事があります。学級の友達ではない子供たちとの関わりや教室外での活動などを通して、さらに子供たちの成長を支えていきたいと思っています。「夏休み明け朝会」で地震や台風などの自然災害を防ぐことはできないが、身を守る方法を考えることはできる、さらに誰かに頼るのではなく自分自身を守るために「考える力」をつけてほしい、また「学校生活ではつらいことや困ったことが起きることもあるけれど、みんなが元気に楽しく過ごせるように先生たちも考えるので相談してほしい」と話しました。

2学期も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

見守り隊のみなさんありがとうございます。

7月19日夏休みを迎える会に登下校時の見守りをして下さっている見守り隊の皆さんに来ていただき、お礼を伝えました。子供たちが元気に登校できるのは、いつもあたたかく見守ってくださっているからです。



吹奏楽部

がんばりました。

7月22日 君津市民文化ホールで行われた令和6年度千葉県吹奏楽コンクールに参加しました。「マザーマ ～大西洋の伝説～」を演奏し「銀賞」を受賞しました。

【部長さんから】

練習では、辛かったり悔しかったりしたこともありましたが、みんなで声を掛け合い乗り越えることができました。本番では緊張しましたが、先生の指揮を見て集中し、悔いのない演奏をすることができました。音楽は一人ではできないことを実感しました。暑さに負けず皆でがんばりました。

児童議会 タウンミーティング

8月25日市川市役所で「児童議会・タウンミーティング」が開催され6年生が参加し、市川市役所の方々に質問をしました。

【参加した6年生から】

私が発表したことは、「子育て」についてです。子育てを初めて経験する人は相談しづらいと思います。そこで「相談しやすい」と思える広報活動が大切だと思うので、そのためにどんな工夫をしているかを質問しました。議会という特別な場所で色々な話が聞けて良い経験になりました。

校庭の排水溝について

これまで施設開放で使用しているサッカー部や野球部のみなさんが校庭の排水溝清掃をして、たまった砂を取り除いてくださっていました。

しかし、南門近くの排水溝は土に埋まってしまい、雨天時の排水ができず、子供たちや保護者の皆様にご迷惑をおかけしている状況が続いていました。

夏休みに教育施設課が埋まっている土を取り除く工事を行い、先日の大雨でも校庭に水がたまることなく排水ができるようになりました。